

<第110回調査>

2018年7月30日

### 【本調査の目的】

2009年6月の第1回調査を皮切りに、(株)外為どっとコムは口座開設者のお客様を対象として、「投資動向等に関するアンケート調査」を毎月定期的を実施していましたが、2010年8月の第15回調査より、その名称を「外為短期投資動向調査(略称:外為短観)」に改めました。本レポートは、同調査の結果に基づき、(株)外為どっとコム総合研究所がその一部を取りまとめるという形で対外的に公表するものです。

近年の外国為替市場において、本邦の外国為替保証金取引への関心が強まっているのは周知の通りですが、その実像を把握するのに必要な統計データ等の整備は、既存のマクロ経済データや金融関連データなどに比べて遅れているのが実情です。今後こうした調査を継続的に実施することで、時系列で比較した個人投資家層の相場感の変化や投資家属性別の投資動向の特徴などを精査し、当社の調査研究活動の深化につなげるとともに、その一部を社会に還元することが、本調査の目的です。

また、本調査におきましては、国内外の市場参加者が注目する各種イベント前後の時期に、不定期のアンケート調査の結果も公表いたします。定点観測の調査結果と合わせて、ご参考にして頂ければ幸いです。

### 【調査実施期間】

2018年7月17日(火)13:00～2018年7月24日(火)13:00

※毎月中旬から下旬にかけての1週間を調査期間としています。

### 【調査対象】

(株)外為どっとコムの『外貨ネクストネオ』に口座を開設のお客様層

### 【調査方法】

(株)外為どっとコムの口座開設者にメールでアンケート回答URLを送付。

今回の有効回答数は633件。

※必要項目を全て入力して回答して頂いたお客様を「有効回答数」としました。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

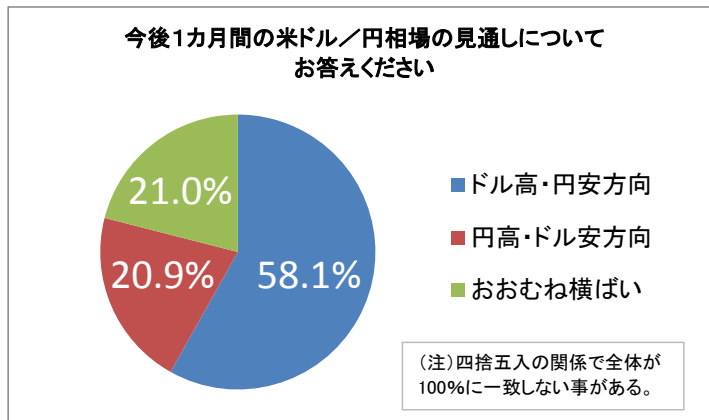
Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

## 【第110回調査結果略報：米ドル強気の見方を維持】

### 問1：今後1カ月間の米ドル/円相場の見通しについてお答えください

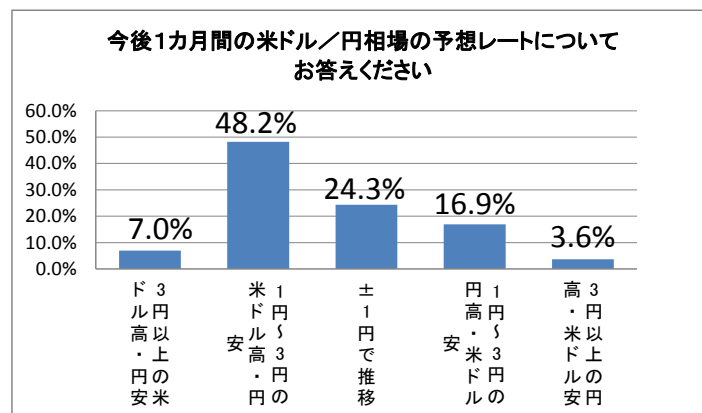
「今後1カ月間の米ドル/円相場の見通し」については、「ドル高・円安方向」と答えた割合が58.1%であったのに対し「円高・ドル安方向」と答えた割合は20.9%であった。この結果「米ドル/円予想DI」は△37.2%ポイントとなり、3カ月連続で△30%台の高水準を維持した。調査期間中の米ドル/円相場は、ドル全面高の流れに乗って約半年ぶりの高値となる113.10円台まで上値を伸ばしたが、その後は110.70円台まで反落するなど、やや不安定な展開であった。トランプ米大統領がドル高や米長期金利の上昇に不満をあらわにしたが、それも個人投資家の米ドル先高感を弱めるには至らなかったようだ。

※過去の米ドル円予想DIの推移はP7-8に掲載。



### 問2：今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レートについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レート」については、「1円～3円の米ドル高・円安」が48.2%と最も多く、「±1円で推移(24.3%)」、「1円～3円の円高・米ドル安(16.9%)」と続き、以下「3円以上の米ドル高・円安(7.0%)」と続き、「3円以上の円高・米ドル安」は3.6%にとどまった。ヒストグラムの形状は米ドル高・円安側に大きく傾いており、米ドル強気・円弱気の見通しが示された問1の結果と整合的と言える。もっとも、調査期間中の平均終値が112.00円前後であった事から推測すると、米ドル/円相場が今後1カ月の間に115円の節目を超えると見ている投資家は極めて少数という事になる。

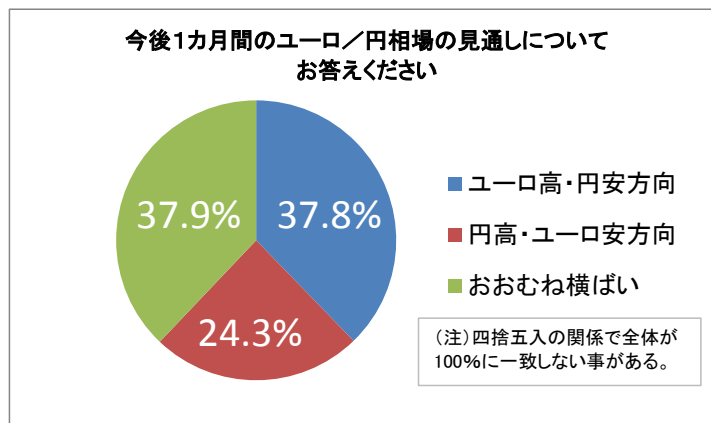


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

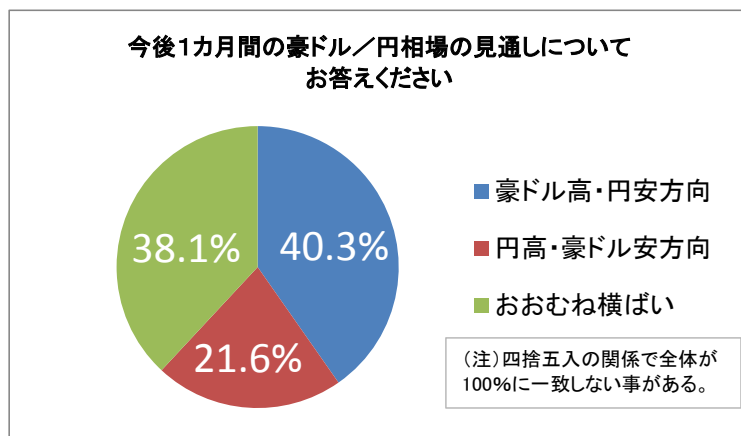
### 問3: 今後1カ月間のユーロ/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間のユーロ/円相場の見通し」については、「ユーロ高・円安方向」と答えた割合が37.8%であったのに対し、「円高・ユーロ安方向」と答えた割合も24.3%であった。この結果、「ユーロ/円予想DI」は△13.5%ポイントと、前回の△0.5%ポイントから上昇して半年振りの高水準を記録した。調査期間中のユーロ/円相場は、2カ月半ぶり高値の131.90円台から129.70円台へと下落する弱含みの展開であり、なおかつ前回調査時の水準を概ね上回って推移した。それにもかかわらず個人投資家のユーロ強気・円弱気度合いが拡大したのが印象的だ。  
※過去のユーロ円予想DIの推移はP7-8に掲載。



### 問4: 今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通し」については、「豪ドル高・円安方向」と答えた割合が40.3%であったのに対し、「円高・豪ドル安方向」と答えた割合は21.6%であった。この結果「豪ドル/円予想DI」は△18.5%ポイントとなり、5カ月連続で強気見通しを示すプラス圏を維持したが、前回(△21.1%ポイント)からは僅かに低下した。調査期間中の豪ドル/円相場は、83円台後半で伸び悩むと81円台後半へと下落。豪州と経済的につながりが深い中国が米国との貿易戦争状態にあり、上海市場などで中国株が下落する中にあっても個人投資家の豪ドル高・円安見通しが大きく萎む事はなかったようだ。※過去の豪ドル円予想DIの推移はP7-8に掲載。



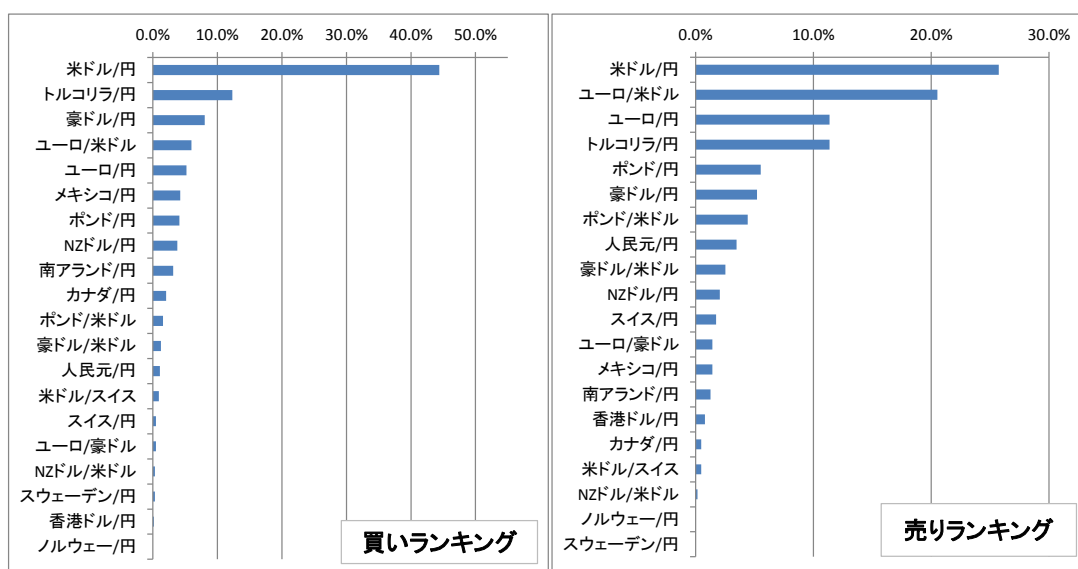
本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

## 問5: 今後、注目の通貨ペアについてお答えください

「今後注目している通貨ペア」について尋ねたところ、「買い」で注目の通貨ペアは、米ドル/円が44.4%の回答割合を集めて1位となり、70カ月連続で首位をキープした。以下、トルコリラ/円(12.3%)、豪ドル/円(8.1%)、ユーロ/米ドル(6.0%)、ユーロ/円(5.2%)の順に続いた。米ドル/円については、他を寄せ付けない独走状態が続いているが、トルコリラ/円も5カ月連続で2位の座を守っており、トルコ大統領戦後も個人投資家の買い意欲に衰えは見られない。

一方、「売り」で注目の通貨ペアは、米ドル/円が25.8%の回答割合で21カ月連続でトップを維持。以下、2位がユーロ/米ドル(20.5%)、3位にユーロ/円とトルコリラ/円(11.4%)が並び、5位ポンド/円(5.5%)の順に続いた。「買い」「売り」ともに、上位陣には順位や回答割合に目立った変化は見られなかった。そうした中、「売り」注目のペアで「人民元/円」が前回の16位から8位へ順位を上げたのが印象的であった。前回調査では僅か0.8%であった回答割合が3.2%に増加している。足元の人民元安基調は、米国の関税強化に対抗するための通貨安誘導との見方が根強いだけに、一部の個人投資家は人民元の下落基調が続くと考えているようだ。

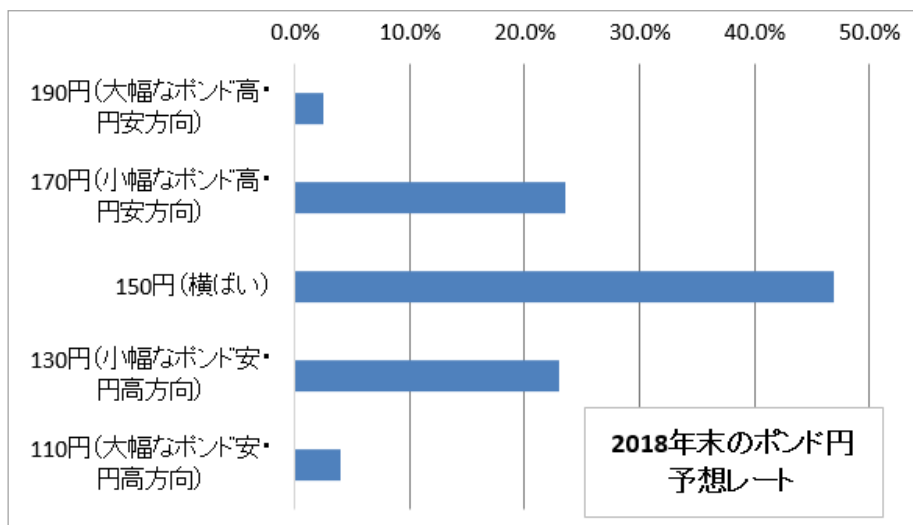


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

### 問6: 2018年12月31日ニューヨーククローズ時点の「ポンド/円」の予想レートをお答えください(ひと

今回の特別質問として、「2018年12月31日ニューヨーククローズ時点の「ポンド/円」の予想レートをお答えください(ひとつだけ)」と尋ねたところ、「150円(横ばい)」の割合が46.9%と最も多かった。次いで「170円(小幅なポンド高・円安方向)」が23.5%、「130円(小幅なポンド安・円高方向)」が23.1%と拮抗。「110円(大幅なポンド安・円高)」は3.9%にとどまり、「190円(大幅なポンド高・円安)」はさらに少ない2.5%であった。英国の欧州連合(EU)離脱=Brexitが2019年3月末に迫る中、今年10月には欧州EU側が定める離脱交渉の期限が到来する。また、Brexitの方針を巡ってメイ政権内で不協和音が目立っており、今後の政権運営についても不安視され始めている。そうした中で横ばい予想が多かったのは、やや楽観的な見通しにも思える。その理由を自由記述形式で尋ねたところ、「Brexitは英国の期待通りには進まないだろうが、経済的な影響は小さいと考えられるため」との声が挙がっていた。そのほか、「EU離脱が近付いてくるので様子見」「円もポンドも弱いのでポンド/円は横ばい」などの回答もあった。一方、「130円(小幅なポンド安・円高方向)」とした向きからは「Brexitで英経済が低迷」との回答が多かった。また、「170円(小幅なポンド高・円安方向)」とした向きからは「アク抜けする」「Brexitしない可能性もある」などの回答があった。

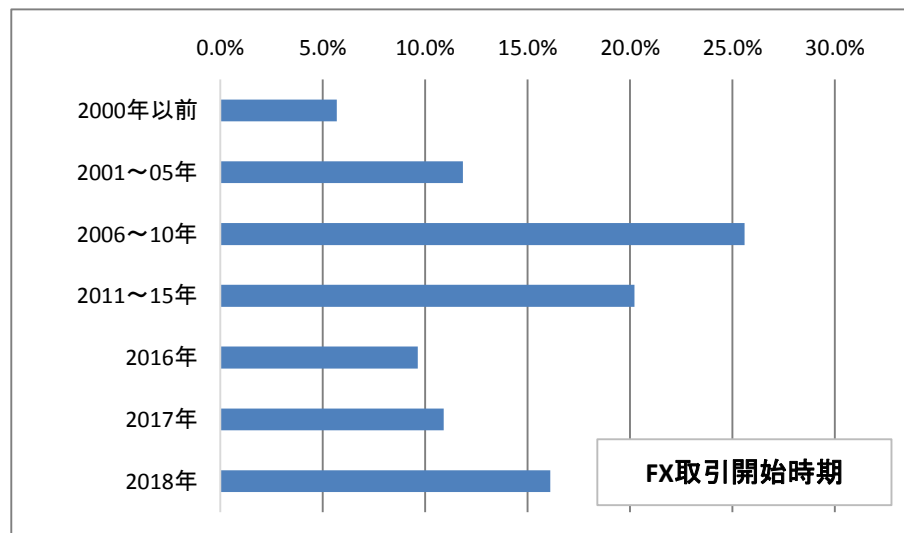


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

### 問6: FXで取引を開始したのはいつごろからですか(ひとつだけ)

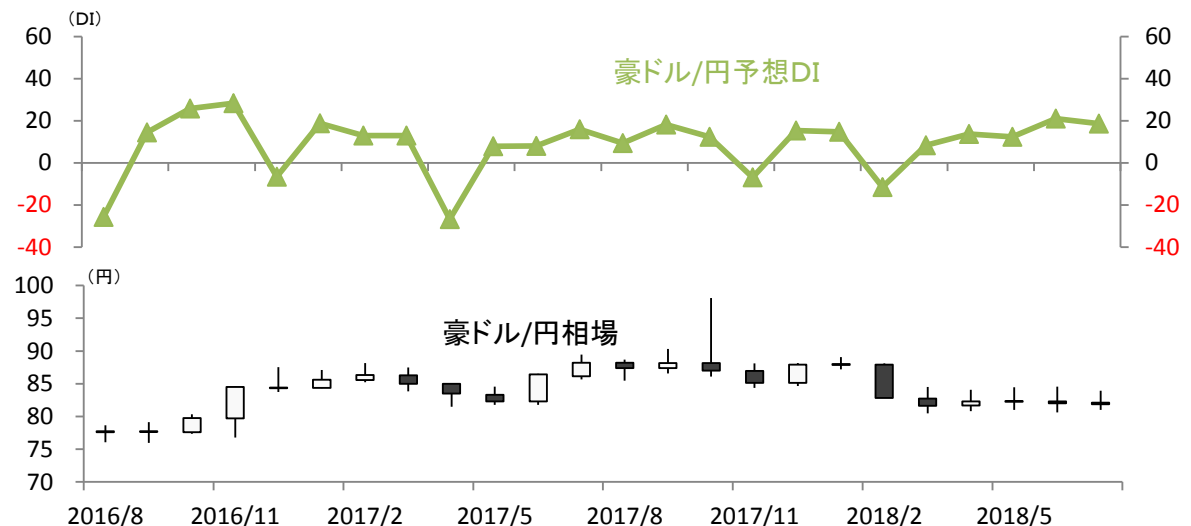
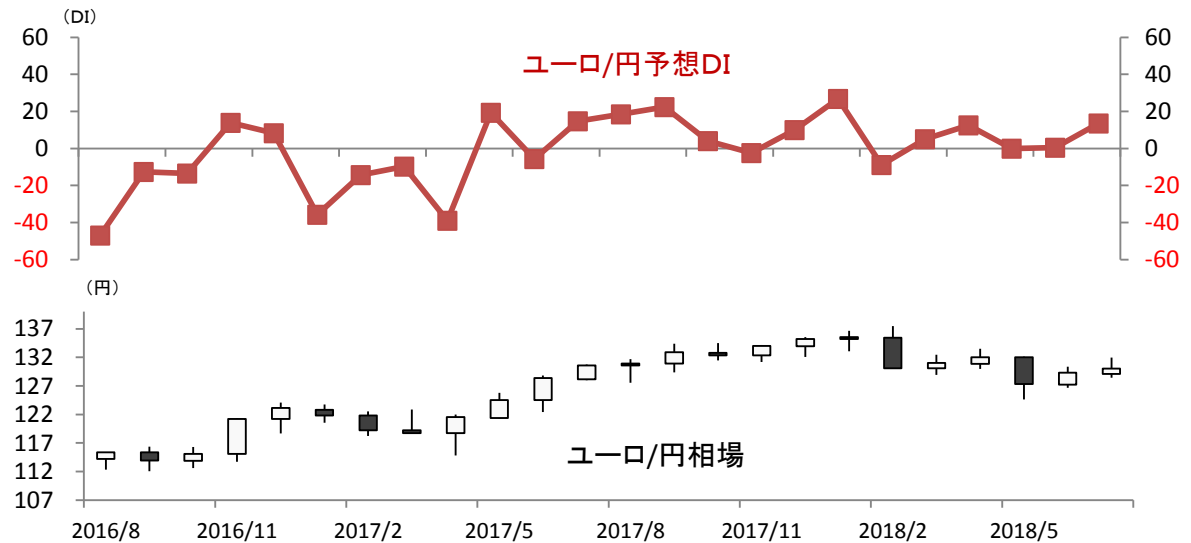
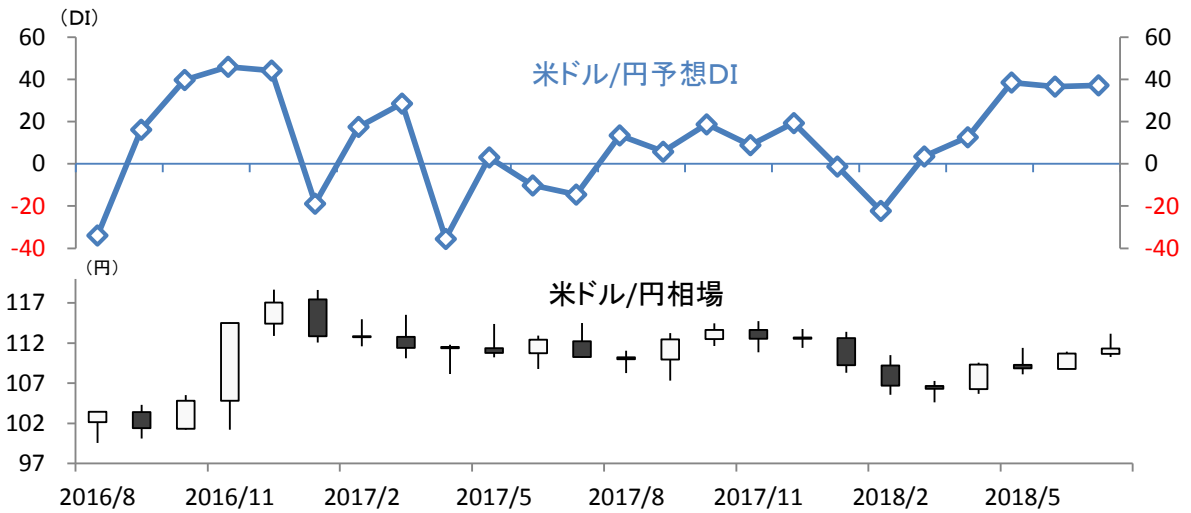
今回のもうひとつの特別質問として、「FXで取引を開始したのはいつごろからですか(ひとつだけ)」と尋ねたところ、「2006～10年」が25.6%と最も多く4分の1を占めた。次いで「2011～15年(20.2%)」、「2018年(16.1%)」、「2001～05年(11.8%)」、「2017年(10.9%)」、「2016年(9.6%)」、「2000年以前(5.7%)」の順になった。「2016～18年」の合算割合が36.6%となっており、比較的最近になって取引をはじめた投資家が多いのは納得の結果であろう。一方で、アベノミクス相場がスタートした2012年(秋)よりも前にFX取引を始めた層が少なくなかった点はやや意外であった。この層の中には、2008年のリーマンショックを身を持って体験した向きも含まれると見られ、10年以上の取引経験を持つ層がそれなりの割合で存在する事になる。



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【付表:主要3通貨ペア予想DIと足の推移】



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

## 【今後の調査実施計画及び公表方針】

本調査も第110回目となりました。調査開始から9年以上が経過し、データの蓄積が進んできました。今後については、毎月定点観測で実施する調査結果を基に、予想DIの時系列比較から見出せるFX投資家の相場観の変化やその傾向などのほか、中長期的な視点に基づいたFX投資家の投資スタイルの変化などの考察も進めていきたいと考えています。

なお、毎月の本調査においては、公表扱いとしている質問項目及び回答結果の他に、「投資家の属性」、「取引頻度」、「取引規模」、「取引時間帯」、「投資選好」など、投資家実態を把握するために必要な各種の質問項目も設けて集計しています。それらの回答結果を用いた投資家の実態報告や属性別のクロス・セクション分析等については、当研究所が1年に1回、毎年年初以降に公表する「外為白書」で紹介する予定です。

## 【付表：主要3通貨ペア予想DIの推移】

		米ドル/円			ユーロ/円			豪ドル/円		
		米ドル高	米ドル安	DI	ユーロ高	ユーロ安	DI	豪ドル高	豪ドル安	DI
2016年	8月	26.5	48.9	-22.4	17.2	48.1	-30.9	25.9	40.2	-14.3
	9月	34.5	36.8	-2.3	23.8	38.0	-14.2	28.4	35.4	-7.0
	10月	57.3	17.6	39.7	24.2	37.7	-13.5	43.3	23.0	20.3
	11月	65.9	19.9	46.0	38.7	24.8	13.9	47.0	21.2	25.8
	12月	64.4	20.2	44.2	36.6	28.3	8.3	50.0	21.6	28.4
2017年	1月	35.2	54.0	-18.8	18.3	54.1	-35.8	28.9	35.5	-6.6
	2月	46.2	28.7	17.5	23.8	38.1	-14.3	41.9	23.1	18.8
	3月	53.3	24.7	28.6	27.6	37.4	-9.8	36.1	23.1	13.0
	4月	21.6	51.7	-35.5	17.7	56.6	-38.9	19.6	46.4	-26.8
	5月	38.4	35.3	3.1	45.9	26.5	19.4	34.9	27.0	7.9
	6月	33.3	43.4	-10.1	31.5	37.1	-5.6	33.7	25.7	8.0
	7月	30.7	45.2	-14.5	42.4	27.6	14.8	42.8	26.9	15.9
	8月	45.5	32.0	13.5	43.8	25.3	18.5	37.3	27.9	9.4
	9月	40.8	35.0	5.8	44.4	22.0	22.4	40.9	22.7	18.2
	10月	48.2	29.4	18.8	35.5	31.5	4.0	37.9	25.6	12.3
	11月	40.0	31.1	8.9	29.0	31.4	-2.4	26.9	33.8	-6.9
	12月	45.5	26.1	19.4	35.0	25.0	10.0	38.0	22.6	15.4
2018年	1月	38.0	39.2	-1.2	48.2	21.3	26.9	37.3	22.6	14.7
	2月	29.1	51.4	-22.3	30.1	38.9	-8.8	28.4	39.9	-11.5
	3月	39.6	36.0	3.6	34.0	29.0	5.0	38.6	30.2	8.4
	4月	42.8	30.1	12.7	37.9	25.3	12.6	39.0	25.3	13.7
	5月	57.4	18.9	38.5	30.3	30.3	0.0	34.9	22.6	12.3
	6月	55.5	18.9	36.6	33.0	32.5	0.5	39.5	18.4	21.1
	7月	58.1	20.9	37.2	37.9	24.3	13.5	40.3	21.6	18.7

(出所)外為どっとコム総合研究所

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com